

# も り 森林を元気に!

— 市民による森林の保全活動 —

## 茨城県元気な森林づくり活動 支援事業

茨城県では、平成20年度から県北地域や筑波山周辺の森林、平地林、里山林などの身近な緑、霞ヶ浦をはじめとする湖沼・河川など、豊かな自然環境を守るために、森林湖沼環境税を導入しました。

この財源を有効に活用しながら、森林の保全整備や湖沼などの、水質保全のための施策など実施しています。

「元気な森林づくり活動支援事業」は、森林に対する理解と関わりを深めていただくために、県民の方が自ら企画立案した森林づくりに関する活動に対して助成されるものです。

本年度桜川市では、『千年の森の会』（山尾地区権現山付近の森林環境保全）と、『(財)日本花の会桜川支部』（平沢地区高峯付近の森林環境保全）の2団体が採択を受け、森林環境保全を行っています。

## 『千年の森の会』による森林環境保全事業

千年の森の会（桜井崇代表）では、これまで17年間にわたって里山の復権を願って、環境教育や間伐・枝打ちなど、森林の保全活動を行ってきました。

現在は、真壁地区のシンボルとなっている「真壁富士（権現山・398m）」の登山道整備を行っています。

権現山では、毎年8月31日の夕刻に、タイマツに灯した神火を、山頂の神社に奉納する「かたて祭り」が行われ

ます。

この登山道整備により、昔のように街中からでもタイマツの灯りの列が見えるようになります。

千年の森の会では、こういった活動により、市民の皆様と共に森林づくりと森林保全を学び、伝統文化を守り、子どもたちの情操教育の場としての森林や里山の原風景を、後世に伝えていけるような活動を目指しています。

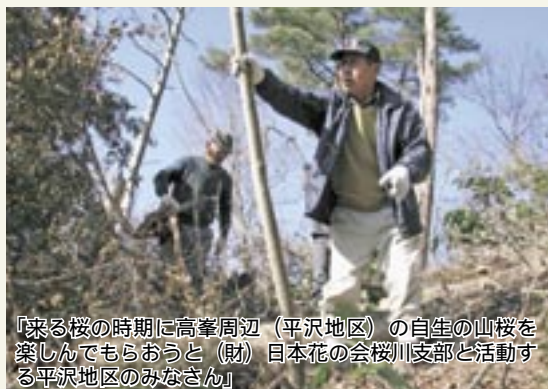


「森林や里山の原風景を後世に残そうと活動を続ける『千年の森の会』のみなさん」

## 『(財)日本花の会桜川支部』による森林環境保全事業

(財)日本花の会桜川支部（磯部亮支部長）では、地域に自生する桜の保護・育成を通じて、自然の美しさ・素晴らしさを感じ愛する心を育み合い、環境・風土と調和したまちづくり活動を広く実践しています。

現在、(財)日本花の会桜川支部では、平沢地区住民の皆様さん、サクラサク里プロジェクト・高峯MTBワールドの皆様さんと協力しながら、来る桜の時期に、多くの市民の



「来る桜の時期に高峯周辺（平沢地区）の自生の山桜を楽しんでもらおうと(財)日本花の会桜川支部と活動する平沢地区のみなさん」

皆様や来訪者の方々が高峯周辺（平沢地区）の自生の山桜を楽しんでいただき、森林や里山のすばらしさに関心をもっていただけるよう、間伐や下草刈り、枯れ木の除去作業などを実施しているところで

